



社協



第130号

2019.4.1

社会福祉法人酒々井町
社会福祉協議会

このマークは社会福祉協議会
全国共通のシンボルマークで
す。手をとりあって、明るい
しあわせな社会を建設する姿
を表現しています。

〒285-0922 酒々井町中央台4-11 TEL.043-496-6635 FAX.043-496-5245
E-mail:info@shisuisyakyo.or.jp URL:https://shisuisyakyo.or.jp/

第7回

酒々井町 地域福祉フォーラム開催

2月3日(日)、プリミエール酒々井文化ホールを会場に第7回酒々井町地域福祉フォーラムを開催いたしました。

地域福祉フォーラムは酒々井町地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進と、住民活動のきっかけづくりの場としていましたが、本年度は内容を拡大した開催となりました。

文化ホール内のI部では、基調講演として町地域福祉推進委員会委員長で、酒々井町の様々な福祉活動に協力をいただいております順天堂大学スポーツ健康科学部健康学科先任准教授の松山毅氏より「我が事・丸ごと」の地域づくり」と題して、地域が抱える問題を「我が事」として考え、住民の参加による福祉のまちづくりの必要性について講話をいただきました。

II部では「酒々井町が目指す地域共生社会」として、松山毅氏の進行のもと、酒々井町長小坂泰久氏をはじめ、町内の様々な福祉に携わる3名の方々とシンポジウムが行われ、来場されている方々とも意見を共有できる方法で話し合いが行われました。

テーマには、困りごとをどこに相談したら良いかわからないや、子ども食堂について取り上げられました。

子ども食堂では、実際運営されているB・Net子どもセンターより運営上の問題として、材料の確保や活動の周知等について提案されていました。

また、文化ホールの外では、オレングリカフェや福祉団体や事業所の紹介ブース、販売コーナー、何でも相談窓口の設置を行いました。



主催者あいさつ・社会福祉協議会齋藤会長



しすいハート体操



相談スペース



白ゆり会、手をつなぐ親の会・販売コーナー



小坂泰久氏(酒々井町長)



鎌田行平氏(社会福祉法人鼎理事長)



大西眞典氏(酒々井町民生委員・児童委員協議会会長)



京増 恒氏(酒々井町豊かな福祉をつくる会理事長)



松山 毅氏(順天堂大学スポーツ健康科学部健康学科准教授)

シンポジウム登壇者

千葉県共同募金会より車両が寄贈されました

3月19日(火)、千葉県共同募金会の「市町村社会福祉協議会地域福祉事業用車両交付事業」に係る助成により、新規車両が1台寄贈されました。

寄贈された車両は、社会福祉協議会が行う地域福祉推進のために使わせていただきます。



社会福祉協議会副会長 退任・就任

このたび久本邦夫前副会長の退任に伴い、平成30年12月19日付けで、新たに福田喜一郎副会長が就任いたしました。



とくし丸

地元スーパー「ナリタヤ」による移動スーパー「とくし丸」が平成31年2月7日からスタートしました。

軽トラックを活用した販売車には、惣菜、野菜、果物、パン、お肉、お刺身等、1,300点弱もの商品がぎっしりと積み込まれています。

販売担当の玉田さんは、とても朗らかな印象の方で、お客さんの顔と名前を覚えていて楽しそうに会話をしていました。

また、買物に訪れた方同士も、顔を合わせて話しができるコミュニケーションの場にもなっていました。

買物は誰でもできるので、訪れてみてはいかがでしょうか。



<販売担当の玉田さんにお聞きしました>

Q：1箇所あたりの滞在時間は、どれくらいか。

A：15分程度。

Q：よく売れるものは何か。

A：野菜、調味料、惣菜（コロッケ等）。

Q：注文が多いものは何か。

A：調味料（減塩等のこだわりのもの）、お米等（重いもの）。

<利用者の声>

- ・とても便利。毎回来ています。
- ・足が悪いので助かります。
- ・運転しているけど、ちょっとしたものを買うのに便利です。
- ・近所の方々が集まって話ができて楽しいです。
- ・味噌を注文しました。いつも使っているものが買えてよかったです。

子ども食堂

NPO法人B-Net子どもセンターで行われている「B-Net子ども食堂」の取材に伺いました。

子ども食堂は、平成30年5月から第2・第4金曜日の18時から行われており、子どもは無料、大人は200円の協力金により運営されています。

取材した日は、カレーや唐揚げなど7品が用意されていて、10名を超える子どもやその保護者の方々、中心となって運営する順天堂大学生の皆さんが1つのテーブルを囲み、和気あいあいと食事を楽しんでいました。

「手洗いうがいをしてから食べよう」「食べた食器は自分で洗う」といったルールも、学生スタッフさんの声かけもあって、率先して行う子ども達の姿が印象的でした。

学生スタッフさんからは、「多いときは20人近くの子どもの来客があり、その時はとても大変。課題もありますが、地域の皆さんの協力をいただきながら、多くの世代の方々にお越しいただけるような、地域交流の場としても広がるよう運営に力を入れられたら」とおっしゃっていました。

現在は、酒々井町農産物等直売組合やいんば中核地域支援センター、ワークライフサポートセンターの支援があり、少しずつ安定した運営ができるようになってきたそうです。

子ども食堂とは？

地域住民や団体、自治会が主体となって運営する、無料または低額で子ども達を中心に食事を提供する場のこと。地域交流の場としても注目を集めている。全国で150か所以上設置されており、現在も増加傾向にある。

<問い合わせ> B-Net子どもセンター 043-496-6353

生活福祉資金貸付制度のご案内



生活福祉資金は、他からの融資が受けられない低所得世帯や介護が必要な高齢者（65歳以上）のいる世帯、障害者のいる世帯などの生活の自立と安定に役立てていただくための貸付制度です。町の社会福祉協議会が窓口となっていますので、貸し付けを希望される方はご相談ください。

資金の種類

総合支援資金

- ・生活支援費（生活再建までに必要な生活費）
- ・住宅入居費（敷金、礼金等の住宅の入居手続きの際に必要な費用）
- ・一時生活再建費（生活を再建するために一時的に必要な費用）

教育支援資金

- ・教育支援費（高校、専門学校、短大、大学で修学するために必要な授業料等の費用）
- ・就学支度費（高校、専門学校、短大、大学に入学するために必要な入学金、制服、教材購入のための費用）

福祉資金

- ・福祉費（日常生活や自立した生活を送るために、一時的に必要と見込まれる費用）
- ・緊急小口資金（緊急かつ一時的に生計の維持が困難になった場合に必要となる少額の費用）

不動産担保型生活資金

- ・不動産担保型生活資金（65歳以上で低所得世帯）
- ・要保護世帯向け不動産担保型生活資金（65歳以上で生活保護を要する世帯）

申込にあたっての留意事項

- ・世帯の総収入が一定限度以下であること。
- ・原則として酒々井町に概ね6か月以上住んでいて、かつ住民登録があること。
- ・他の制度を利用できる場合は、そちらが優先となります。（例：母子寡婦福祉資金、日本学生支援機構の奨学金等）
- ・貸付の決定は千葉県社会福祉協議会が行います。申請内容によっては貸付にいたらない場合もあります。

身近な仕事 たのんでみようかな？
シルバーは安全・安心・安価です

新規会員も募集中（60歳以上で働く意欲のある方）

（公社）酒々井町シルバー人材センター
☎043-496-4077（土、日、祝日を除く）

広告

サービス付き高齢者向け住宅 ～ご高齢者のための賃貸住宅です～

Solcias

ソルシアス佐倉

すべての人に希望あふれる明日を

- 京成佐倉駅徒歩4分
- 24時間介護スタッフ常駐
- お元気な方も介護の必要な方もご入居できます

☎0120-83-7070

住所／佐倉市宮前3-15-1
事業主体／株式会社JALUXトラスト



ご見学随時承ります

広告

白ゆり会 (酒々井町母子寡婦福祉会) 会員募集中!

ひとり親家庭のみなさんが集い、励ましあひながら福祉の向上や親睦を図り、幸せづくりに皆で取り組んでいく団体です。

若年母子会では夏休み親子ふれあい旅行やクリスマス会、ボーリング大会等のイベントを実施しております。

また、寡婦会では親睦旅行やお食事会、観劇会で交流を深めている他、年1回の鉢花販売や、エコトピアでの喫茶店のお手伝いを行っています。

白ゆり会は、私たちの会です。ひとり親家庭や寡婦のみなさんの入会をお待ちしております。

白ゆり会 会長 青木 悦子

※若年母子…18歳以下の子を養育する母親とその子ども。

※寡婦…夫と死別または離別し、子が独立している再婚していない女性。



酒々井小学校福祉教育

2月15日(金)、福祉教育活動の支援として、酒々井小学校5年生を対象に車いす体験と高齢者疑似体験が行われました。慣れない車いすの操作や、普段とは違う感覚に戸惑いながらも、児童の皆さんは楽しみながら福祉への学びを深めていました。

また、当日は5名の福祉教育サポーターも参加し、活動とサポートしていただきました。

「今日のことを忘れず、困っている人がいたら声をかけてあげてね」の声に、児童のみなさんは元気に返事をしていました。



「初級音訳(朗読)ボランティア養成講座」

1月24日から4回にわたりボランティア協議会主催による初級音訳(朗読)ボランティア養成講座が行われ、10名の参加がありました。

講師は日本朗読検定協会認定講師で各イベントにて音訳講座講師として活躍されています森田清香氏にお願いし、音訳の基本姿勢と呼吸から始まる無理のない自然な発声・アクセントに注意しながら学び、最終講座では受講生全員が広報の録音作業を行いました。どの回も皆さん真剣に取り組んでいました。

今回の講座で4名の方が朗読奉仕グループ「虹」へ入会されボランティア活動に協力いただく事になりました。



いつ起こるかわからない 災害に備えて

3月16日(土)に、中央公民館講堂において、災害ボランティア講座を開催しました。

講師にNPO法人千葉レスキューサポートバイクの丸山岳さんを迎え、「防災と災害ボランティアセンターについて」をテーマに講義を行いました。

当日はボランティア26名の参加があり、「災害の想定による減災」や「災害ボランティアセンターの機能や業務」について学びました。

今後、いつ起こるかわからない災害に備え、災害ボランティアセンターを素早く立ち上げられるよう継続的な訓練を行います。



福祉団体へ寄附

このたびNPO法人酒々井町の豊かな福祉をつくる会より、福祉団体(酒々井町母子寡婦福祉会・酒々井町災害時要援護者支援ボランティア会)に、今後の活動に役立てていただきたいと、寄附贈呈式が行われました。



右から 酒々井町母子寡婦福祉会役員…金親美幸氏
NPO法人酒々井町の豊かな福祉をつくる会常務理事…齋藤甲一氏
同法人理事長…京増 恒氏 同法人理事…鎌田行平氏
酒々井町災害時要援護者支援ボランティア会会長…室谷淑子氏

話を聴くとは ～傾聴入門・スキルアップ講座～

3月8日、15日に、ボランティア協議会主催の『傾聴入門・スキルアップ講座』がNPO法人スピリッツにお願いして開催されました。

初めて受講される方を対象にした『入門講座』では、基礎を中心に講義や実際に傾聴を意識した実技を行いました。

また、1度入門講座を受講された方や現在「傾聴ボランティア」として活躍されている方を対象にした『スキルアップ講座』では、実技を中心に技術のレクチャーや、より発展した実技(話し手、聞き手、観察者に分かれたロールプレイ)を行いました。

実施後ご記入いただいたアンケートからは「難しかったが、日常生活の役に立つことが学べた」「傾聴とはどういうことか理解できた」と意見を頂きました。



総合印刷

企画・製作・イベント

株式会社 **エイティ**

〒289-1115 八街市八街ほ211

TEL043-444-2024 FAX043-440-1101

広告

「5月・6月は赤十字運動月間です」

日本赤十字社千葉県支部は、「災害からいのちを守る赤十字」として、災害発生時の医療救護活動や、救援物資の配布、平時には、いのちを救う救急法等の赤十字講習会及び防災・減災活動の普及、赤十字ボランティアの育成等の人道的活動に取り組んでいます。

これらの人道的活動は、国や県からの公的資金によらずに、皆様からお寄せいただく活動資金によって支えられています。

つきましては、赤十字の活動をご理解いただくとともに、赤十字活動資金へのご協力をよろしくお祈りします。

【問い合わせ】

日本赤十字社千葉県支部
☎043-241-7531
URL <http://www.chiba.jrc.or.jp>

 <http://fb.me.chibajrc/>



災害からいのちを守る赤十字

「苦しんでいる人を救いたい」
その思いを実現するため
様々な人道的活動に取り組んでいます



活動資金へのご協力をお願いします
～5月・6月は赤十字運動月間～

相談事業の予約について

毎月木曜日に行っております相談事業の予約受け付けは、どちらの相談も相談日の3日前までに予約が必要ですが、予約の状況により当日まで受け付けることができます。

ご予約の際はお問い合わせください。

- 【相談日】 ・心配ごと相談日 第1、3、5木曜日
・法律相談日 第2、4木曜日
(先着順1日6件まで)

ご家庭に眠っている食品大募集！ 「第22回フードドライブ」

ご家庭で不要な食品があればぜひご寄贈ください。いただいた食品は「フードバンクちば」が責任をもって福祉施設・支援団体などを通じて生活に困窮している方にお配りします。

期間 5月13日(月)～6月28日(金)

受け取り窓口 社会福祉協議会

寄付いただきたい食品

- 穀類（お米、乾麺類、パスタ等）
※お米は29・30年度産に限ります。（玄米可）
- 保存食品（缶詰、瓶詰等）
- 乾物（のり、豆など）
- 調味料各種、食用油
- インスタント食品、レトルト食品
- 飲料（ジュース、コーヒー、お茶等）
- ギフトパック（お歳暮、お中元等）

※注意いただきたい点

- ・賞味期限が明記され、かつ2ヶ月以上あるもの
- ・常温で保存が可能なもの
- ・未開封であるもの
- ・破損で中身が出ていないもの
- ・アルコール類は受付けておりません

問い合わせ フードバンクちば

☎043(375)6804 URL：<http://foodbank-chiba.com>



善意のご寄付 ありがとうございました

(順不同・敬称略)

▽学校法人堀口学園昭苑こども園	10万6千287円
▽PULM&U S.D.C.プラム&ユー	5万円
▽スクエア・ダンス・クラブ	5万円
▽白ゆり会(母子寡婦福祉会)	2万円
▽木曜の部屋	1万3千5百円
▽酒々井聖書キリスト協会	1万円
▽第12回おじさんずライブinしすい	7千5百円
実行委員会	7千5百円
▽編みむめも	3千円
▽越川園芸	1千5百円
▽匿名7件	1万4千2百円
合計	22万6千012円

(H30年12月15日～H31年3月25日受付分)
(一部広報ニューしすい再掲)

ふれあいサロン「かざぐるま」

ふれあいサロン「かざぐるま」は、みなさんが気軽に集まれる地域のお茶の間として、毎月開催しています。

お茶を飲みながら楽しくお話しをしたり、歌を歌ったりして楽しいひと時を過ごしませんか。

ぜひ、ご近所の方やお友達を誘って会場までお越しください。

【会場】中央公民館和室（1階）※お部屋は変更になる場合があります

【開催日】原則毎月第1金曜日（5月、11月、1月は第2金曜日）

【時間】10時～11時30分

2019年度の開催日

2019年	4月5日	5月10日	6月7日	2020年	1月10日
	7月5日	8月2日	9月6日		2月7日
	10月4日	11月8日	12月6日		3月6日

災害義援金の募集を行なっています

国内で各種災害により被災された方々を支援するために、社会福祉協議会では義援金の受付を行っています。

この義援金は日本赤十字社千葉県支部を通じて、被災された方にお届けしています。

現在、被災者支援のために募集している義援金は次の通りです。

- ・平成30年7月豪雨災害義援金……………2019年6月30日まで
- ・平成30年北海道胆振東部地震災害義援金…2019年9月30日まで
- ・東日本大震災義援金……………2020年3月31日まで
- ・熊本地震災害義援金……………2020年3月31日まで

特別会費納入のお礼

12月にお願いした社会福祉協議会特別会費の納入にご協力いただき、ありがとうございました。ご協力いただいた特別会費は、一般会費と合わせて給食サービスやボランティア活動の推進、各種相談事業などの地域福祉事業に活用させていただきます。

なお、今回ご協力いただいた特別会員の皆様については、7月1日発行の広報でご紹介させていただきます。

◆広告主募集中◆

広報「社協しすい」有料広告

広報紙にPRの広告を載せてみませんか。

【広告の規格】縦45mm×横110mm
【広告の料金】5,000円/回

「しすいふれ愛タクシ」
車体広告

【広告の規格】縦300mm×横450mm（マグネット式）

【広告の料金】1万円程度

※デザインによって異なります

（掲載料）1枚につき
1か月2千円
1年間2万円

【申し込み・問い合わせ】社会福祉協議会 ☎(496) 6635



大豆油インクで印刷しています

この広報紙は、みなさまからの会費と共同募金の配分金によって発行されています。

※CDに録音した「声の広報」もあります。詳しくは、お問い合わせください。